

令和8年5月14日
 福祉保健部感染症対策・薬務課

 新潟県感染症情報（週報速報版）をお知らせします
 （令和8年第19週：令和8年5月4日から令和8年5月10日まで）

※新潟県感染症情報は「速報版」であり、前週公表した数値と異なる場合があります。

◆麻しん（はしか）に注意をお願いします。（別紙1参照）

- 第10週（3/2～3/8）以降の県内での発生はありませんが、全国的には直近10年で最も感染者数の多かった2019年の同時期に迫る勢いで急増しています。麻しん（はしか）は、マスクや手洗いでは感染予防として十分でなく、ワクチンが重要です。**麻しん（はしか）は、先進国でも重症化することもあり、1,000人に1人死亡するとされている感染症**です。
- 発熱、発しんなどの麻しん（はしか）を疑う症状がある場合は、**外出を控えるとともに、受診する場合には、事前に医療機関に連絡の上、医療機関の指示に従ってご対応いただくよう**お願いします。また、受診の際には、**公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。**
- ご自身の発症予防、重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、麻しん・風しんワクチンの2回接種が重要です。お子様が**定期接種の対象である1歳又は就学前1年間**にある場合、**積極的に早期の接種をご検討**ください。
- また、ご自身やご家族の予防接種歴について確認をお願いします。2回の接種記録を確認できない場合は、必要に応じて医療機関にご相談ください。

 ※厚生労働省「麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ」（別紙2参照）
[麻しん（はしか）の国内外での報告増加に伴う注意喚起について - 新潟県ホームページ](https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kanyaku/1356868039539.html)
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kanyaku/1356868039539.html>
◆つつが虫病の届出がありました。（別紙3参照）

- 県内において、今年初のつつが虫病の届出がありました。
- ダニの一種であるツツガムシに刺されることによって感染します。春～初夏及び秋～初冬に2つの発生ピークがあります。人から人へ感染することはありません。
- 野外作業、山菜採り、アウトドアレジャーなどで山林や草地などに入るときは、長袖、長ズボン、長靴を着用し、肌をできるだけ出さないようにしたり、防虫スプレーを使用するなどの対策をとりましょう。

[つつが虫病に注意しましょう - 新潟県ホームページ](https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kanyaku/1356900210916.html)
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kanyaku/1356900210916.html>

 ●今週の
 トピック

●定点報告

全県に警報を発令している疾病：なし

●全数報告

1類感染症	届出なし				
2類感染症	届出なし				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1件	新潟市保健所管内	無症状病原体保有者	10歳代男性
	E型肝炎	1件	新潟市保健所管内	患者	60歳代男性
	A型肝炎	1件	新潟市保健所管内	患者	60歳代男性
4類感染症	つつが虫病	1件	十日町保健所管内	患者	80歳代女性
	レジオネラ症	1件	新潟市保健所管内	患者	50歳代男性

5類感染症

侵襲性肺炎球菌感染症	1件	南魚沼保健所管	患者	60歳代女性
梅毒	1件	新発田保健所管内	無症状病原体保有者	50歳代女性

次回は令和8年5月21日（木）発行予定です。

福祉保健部感染症対策・薬務課感染症対策班
電話 025-280-5200（内線 2594）